

# 各部の運営方針と目標

平成23年度

平成 23 年 6 月



三 鷹 市



古紙配合率80%の  
再生紙を使用

## 平成23年度「各部の運営方針と目標」の策定にあたって

このたび、平成23年度の「各部の運営方針と目標」を策定しました。

この「各部の運営方針と目標」は、平成15年度に私が市長に初めて就任した直後から、3期目となった今日に至るまで、市民の皆様に向けた「説明責任の確立」と「成果重視の自治体運営」を恒常化する仕組みとして機能してきたと認識しています。

内容は、①「部の使命・目標」に関する認識、②職員数、予算規模といった「部の経営資源」、③基本構想・基本計画及び平成23年度施政方針に基づく「各部の重点事業」等で構成しています。

市では、各職場が日常的な業務を通じて受けとめている市民の皆様のニーズを基礎に、各部の主体的な問題意識を政策に反映させるため、毎年10月に市長、副市長、教育長等理事者が、各部との協議を重ねる「政策会議」を開催しています。この場では、各部長等から新年度に向けた意欲的な新規事業や拡充事業などの提案が行われます。私は、各部の提案を尊重しつつ、かつ市長としての市政運営の理念や個別政策に対する考えを率直に伝え、短期的視点と中長期的な視点、新規の政策や既存の政策との整合性や財源との関係など多元的な視点から議論を展開します。こうした三鷹市の「活発な政策論議を行う風土」により、毎回、市政が目指すべき理念を共有しつつ、財源の裏付けをもった実現性の高い結論が導き出されていきます。

こうした過程を経て策定した「各部の運営方針と目標」は、各部の部長の名前を掲載し、部の管理者である部長と、市民の代表である市長との成果契約として市民の皆様公表しています。こうして、「各部の運営方針と目標」は、自立的な部内運営による着実な日々の経常業務の遂行と同時に、政策実現過程で直面する種々の課題に対して、機動力・応用力を発揮して柔軟に対応するための準拠ともなっています。

さて、今年度は、平成34(2022)年度を目標年次とした次期総合計画となる「第4次三鷹市基本計画」を策定する年度です。また、24の個別計画を策定・改定する年でもあります。東日本大震災を経験している今、三鷹市に求められているのは、万が一の事態にあっても被害を最小限にとどめる都市基盤整備や防災拠点の確保といった「都市再生」であり、人と人とのつながりに根ざした日常的な相互扶助の仕組みづくりと信頼の醸成である「コミュニティ創生」であると私は考えます。この「各部の運営方針と目標」の実行に向けて、市民の皆様の立場に立った市政運営を、絶えざる行財政改革を進めながら、全職員一丸となって取り組みます。

平成23年6月

三鷹市長 清原慶子